

36年前に開催された石川インターハイ当時、石川県代表として出場し、今回指導者として再び地元開催のインターハイに出場することになった先生方にお話を伺いました。

【羽咋工業高等学校・田畑武志（たばたたけし）先生】

羽咋高校の男子団体の選手としてインターハイに出場し、ベスト8進出。
田畑先生自身は優秀選手に選出されました。



①高校時代の思い出は？

地元開催の全国大会のために、中学1年生から県を挙げての強化をしてもらいました。高校時代は本番に向けてスタミナをつけるために、学校までの片道8.5キロを走っていき、平日3時間の練習に取り組んでいました。

②インターハイに関する思い出は？

地元開催のインターハイということで、会場の羽咋体育館には大応援団が駆けつけてくれていました。当時は大会最終日に残ることができるのはベスト8校のみ（現在はベスト16校）でしたが、必ず最終日に残るという強い思いで試合に臨みました。チームのメンバーのうち誰一人として自分自身のために試合をした者はおらず、当時指導をいただいていた澤田清司先生を勝たせたい、という思いで全員が試合に臨みました。（田畑先生は予選から準々決勝まですべての試合で2本勝ちを収め、優秀選手に選出されています。）

③石川インターハイに監督として出場することについて

本校剣道部員は近隣の中学校から進学してきた生徒が多いですが、中には今回の石川インターハイを目指して親元を離れて進学してきた生徒もいます。かつて自分が出た大会であり、地元の応援に支えられたことを含めて心に残る大会であったので、その舞台に自分の生徒たちにも立ってほしいという一心で、生徒と共に練習をしてきました。

④今回のインターハイへの意気込み

団体戦における予選リーグは3校で争うことになり、これまでの自分の経験では大変厳しい戦いになることは分かっていますが、かつて自分が残した結果をなんとか超えていきたいと考えています。

⑤選手へのメッセージ

インターハイに監督として参加させていただくことになったことに非常に感謝しています。監督としてのインターハイ出場経験は数回あるので、本大会ではその経験を生かして生徒に恩返しをしていきたいと考えています。

⑥先生にとってインターハイ、剣道とは？

剣道は人生である。剣道は自分の鏡であり、悪いことも良いことも映し出してくれます。剣道のおかげで今の自分があり、剣道のおかげで再び地元インターハイに戻ってくることができました。今回のインターハイで剣道に対しても恩返しをしたいと思っています。